

第5学年-Unit9 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (4/5時間)

1. 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。
(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- ・英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。
(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

○Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). [He/She] is a good (tennis player).
 [He/ She] can (cook well). [He/She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny].
 ○hero, 状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	・挨拶をする ○Let's Chant:(p.67)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・スピーチをする時にも使えるようなジェスチャーを意識して歌う。	デジタル教材
7分	○ポインティングゲーム ・指導者の言う動詞、形容詞を聞き、誌面にある絵を指さす。	・動詞についてはingが付いた形で何度も行う。形容詞については言い方に慣れてきたら、実際の人物を入れて(先生やよく知っているキャラクターなど)、言わせる練習をする。例)Mr. Suzuki is (kind).と()内に形容詞を入れさせていく。	
10分	○Let's Play 2② ・友達とのやり取りで得た情報をもとに、別の友達にShe/Heを使って伝える。	・前時に行った友だち紹介に状態を表す語を加えて言う練習をする。例)Taro is good at skiing. He is cool. ・グループや全体で発表させる。その時に、I see./Wonderful.などと反応し、聞き手の姿勢も大切であることを伝える。	
マイヒーローのスピーチを作ろう。			
18分	○Activity 2 (p.72) ・スピーチ作成と練習	・紹介したいヒーローのスピーチを作成させる。 ・スピーチ原稿を作成し、それをもとに発表することで、余裕をもってスピーチができることを実感させる。 ・カットアウトピクチャーかポスターの形で、紹介したいことをイラストにさせる。 ※カットアウトピクチャー：B4の用紙などに広告や写真、ポスターなどを切り抜いて貼り付けたもの。 ・イラストには時間をかけず、練習時間を確保できるよう声かけをする。 ・スピーチができた児童同士でペアを組ませ、練習させる。 スピーチ文(例) This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero. ◎英語と日本語の書き方に違いがあることに気付き、語と語の区切りに注意して書いている。(言語や文化に関する気付き) <ワークシート>	文部科学省ワークシート (Unit9-1,2,3,4,5)使用可
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード